

3.11 産学連携部門

部門長 門馬 弘

【部門概要】

産学連携部門では、産業界、大学等の研究ポテンシャルを結集する核となり、委託研究、共同研究、受託研究等の多面的な研究開発スキームにより戦略的に研究開発を推進し、あわせて研究開発人材を育成するため、産学官連携の推進に積極的に取り組み、社会に還元し得る成果創出を実現していくことを目指している。

(1) 共同研究の推進

外部の研究リソースの有効利用による効率的・効果的な研究開発を推進するため、通常の共同研究に加え、「委託付共同研究」、「資金受入型共同研究」を行っており、これらの契約締結のための支援業務を実施している。

また、共同研究や技術移転の事前準備のために締結する「秘密保持に関する契約」についても、同様に契約締結のための支援業務を実施している。

(2) 大学等との連携、研究者交流の推進

大学等と幅広い相互協力を促進するための情報通信分野の連携促進に関する協定、連携大学院制度に基づく大学院等との教育研究に関する協定を締結している。

また、研究開発人材の育成のため、研究者、研修員の受け入れ等を推進し、そのための支援業務を実施している。

(3) 委託研究（高度通信・放送研究開発委託研究）の推進

外部機関が持つ実績や知見を活用し、NICT 自らの研究と一体的に実施することで効率化が図られるものについて、外部の研究能力等のリソースを有効利用して効果的かつ効率的な研究開発を推進している。実施にあたっては、NICT が研究開発課題を示して公募し、評価委員会の審査を経て受託者を決定している。

(4) 受託研究の推進

NICT の技術的ポテンシャルを生かした受託研究等を推進し、国の政策課題解決に積極的に貢献するとともに、NICT 自らの研究開発能力の向上、新たな技術シーズの創出を図っている。また、競争的資金獲得を推進し、研究者の自発的な研究能力の向上、競争力の向上を目指している。

【主な記事】

(1) 委託付共同研究の開始

NICT が自ら実施する研究開発の一部を共同研究者に委託した方が効率的であり、より研究成果が見込まれる課題について、共同研究と委託研究を一体的に実施する「委託付共同研究」を開始した。

(2) 大学等との相互協力協定

北陸先端科学技術大学院大学、東京大学、東北大学と情報通信分野における連携・協力の推進に関する協定を締結し、最先端の情報通信技術に関する共同研究や人材交流等幅広い分野にわたる相互協力を行っていくこととした。

(3) フォトニックネットワークシンポジウム 2012 の開催

100 ギガビット光通信技術をはじめとする大容量光通信技術の最新動向を共有・議論する場として、平成 24 年 3 月 15 日に総務省及び電子情報通信学会通信ソサイエティの主催、YRP 及び NICT の共催によりフォトニックネットワークに関するシンポジウムを開催した。NICT からは光ネットワーク研究所の成果とともに関連の委託研究による成果を発表し、さらに、「ユニバーサルリンク技術の研究開発」の委託研究についてパネル展示を行った。

(4) 連名契約方式の導入（高度通信・放送研究開発委託研究）

平成 23 年度の新規契約案件から、複数の研究者がグループを組んで受託する場合に、代表の幹事者のみと契約する「一括契約方式」に加え、①契約締結等に関わる幹事者の事務負担が軽減、②各受託者の分担範囲において、裁量権と自由度をもって研究開発を進めることが可能、となる「連名契約方式」を新たに導入し、契約時にこれらを選択できるようにした。

(5) 外部資金獲得推進

外部資金への応募支援、外部資金獲得のための講習会開催などにより、外部資金の獲得を推進した。平成 23 年度は、公募型受託研究（35 件、17 億円）、研究助成金受け入れ（51 件、2 億円）など、NICT 全体で計 92 件、31 億円の外部資金を獲得した。